

第72回 社会を明るくする運動

8月4日、第72回「社会を明るくする運動」積丹町作品選考委員会で、町内小中学生から応募のあった85点の作文・標語の中から7点の入選作品を決定しました。

積丹町作文・標語入選作品

◆作文の部◆

〈中学生の部〉

佳作 『夢を叶えるには』

美国中3年 佐藤 果夏さん

◆標語の部◆

〈小学生の部〉

金賞 思いやり みんなが笑顔の 第一歩

銀賞 前見れば キラキラ光る 友の顔

銅賞 「こーんにーちはー」 全員元気で 笑タイム

美国小6年 菊地 羽葉さん
余別小5年 野宮 湊輔くん

美国小6年 船田 煌介くん

〈中学生の部〉

金賞 一歩ずつ 自信をもって また一歩

銀賞 焦らずに あなたの歩幅で 進もうよ

銅賞 手をとって 優しさつないで 広がる輪

美国中1年 野宮 権人くん
美国中3年 山下 湊さん
美国中3年 原 汰綺くん

《「作文」・中学生の部》 佳作受賞作品

「夢を叶えるには」

美国中学校3年 佐藤 果夏

私には将来の夢があります。そして、その夢を将来掴み取るために毎日少しずつの努力を重ねて生きています。

どんな夢でもその実現には「努力」がつきものです。努力の大切さやどうしたら毎日積み重ねることが出来るのか、私なりに考えてみました。

まず、努力は怠らないことです。どんな時でも少しずつ努力を重ねることが夢を叶えることにつながります。ですが、必ずしも自分の夢が努力したとおりに叶うわけではないでしょう。

私は自分の経験から、努力の半分ぐらいが結果に出ると感じています。だから、自分のイメージ通りにしていくためには倍の努力が必要なのだと思います。

でも、それはとても大変なことで、続けることそのものが苦になってきます。同じことの繰り返しのように感じて諦めてしまいたいようになります。

しかし、その辛い時を乗り越えれば自分が想像していた景色が見られ、夢が叶うと信じています。

その時の達成感が次の夢を叶えるためのモチベーションとなり、人は次の一歩を踏み出すことができるのです。だから、努力は何をするにも必要不可欠であり、人にとって一番大切なものだとは私は思います。

どうしても努力し続けられるのでしょうか。人はどうしても休みたい時もありますし、違うことで気分転換をしたい時だってあります。リフレッシュはとても大切なことです。頑張る、リフレッシュする、また頑張る、その繰り返しだけで人は努力をし続けることができると思います。

また、小さな目標を少しずつ立てていき、それを達成することができたら自分を褒めてあげたりすることも必要です。「自分はこれだけ頑張ることが出来る。」「自分なら必ず夢を叶えられる。」「などと励ましたりすることで努力することが楽しく変わる面があると思います。大きな目標を一つ立て、それに向けて小さな目標を立てていく、そしてそれを一日一個達成する。それを続けていけばいつの間にか大きな目標も達成できて、自分の夢にさらに近づいているはずですよ。努力を続けるには努力を楽しむに変えること、そして大きな目標の中に小さな目標を立て、一つずつ確実にこなしていくことが大切です。

「目標」というのは「夢」でもあります。また、「達成」は「叶う」と同じです。人は夢を叶えるために努力をしますが、逆に言うとは人は努力をするために夢を見るのです。だから、「夢には努力が必要だ。」と言われるのだと思います。

今の時代は情報技術を始め、様々なテクノロジーが急速に発達しています。今まで人が行ってきた仕事をAIが行うようになるなど様々な変化が出てきています。そう考えると叶えたいと思う夢が変化してしまうように感じますが、しかし、どんなことでも、小さくても大きくても、それは立派な夢です。夢は叶えたいと願うものです。自分が本当にしたいこと、なりたいたいもの、夢を見ることは生きる上で一番大切なことだと思うのです。

だから、貴方を応援してくれている家族や友達、先生を信じ、夢を叶えるための努力を続けていきましょう。そして明るい社会、楽しい未来を作っていくいきましょう。

北後志消防組合積丹支署

— 消防ニュース —

消防士としての第一歩！

令和4年4月から積丹支署職員として勤務している嶋津 綾 消防士が、北海道消防学校（江別市）での100日間に及ぶ初任教育課程を修了しました。

初任教育課程は、消防士としての基礎を学ぶため、全道各地から新人消防士が集まります。

嶋津消防士は、「消防学校では、放水や梯子の取扱いなどの基礎訓練以外にも、消防職員としての心構えや、寮生活を通して大切な仲間と過ごしたことで技術・知識だけでなく、人として沢山の事を学びました。これからも訓練に励み、地域の安全に貢献できるように努力します。」と抱負を語っていました。



IP電話の”誤操作”に注意を

IP電話が更新され、新しい機能として消防へのワンタッチ緊急連絡ボタンが加わりましたが、最近、消防へ間違い電話が多くなっています。間違って緊急連絡ボタンを押してしまった場合、電話を切らずに対応する消防士に間違えたことを伝えてください。

地域おこし協力隊 レポート

Vol.3

4月1日付けで9名の『地域おこし協力隊』が委嘱され、町内の団体や事業所で活躍しています。各隊員の活動内容や今後の目標などを広報しゃこたんで連載しています。



今月の地域おこし協力隊

おやま さゆり
小山 彩由里 さん

【（一社）積丹やん集小道協議会所属】

（一社）積丹やん集小道協議会所属の小山 彩由里と申します。

やん集小道協議会は「ヤマシメ番屋・石蔵」を運営している団体です。主な取組は、「地域資源を活かした観光づくり」です。

これまでは「ヤマシメカフェ」や「ウニ殻クラフト」等諸先輩方の力で形にされてきました。その中で私は、体験観光に力を入れ、皆さんがこれまで大切にされてきた歴史文化や自然を、イベントやツアーを手段として魅力を「伝えていく」ことが目標です。

その中でも、未利用資源や通常廃棄されるものなどを地域の貴重な資源として、いかに魅力あるものに変えていくかを考え、「モノは工芸品づくり体験へ」、「自然や文化はアクティビティ体験へ」と、遊びと学びの場づくりに変化させる仕組みを、新たに地域で展開させることで収益化を図る挑戦をしています。

7月には小泊海岸で、子ども達が海の生き物と触れ合う「おでかけ水族館」を開催しました。



これは子ども達に海に親しみを持つてもらうためのプログラムです。地元漁師の方々に協力をお願い、子ども達は初めて触る魚に大興奮しながら楽しんでいて、大成功を収めることができました。

今後は、積丹町の自然と歴史を題材に、海・森・歴史を学ぶ機会づくりを行い、それらを目的とした「工芸品づくり体験」や「環境教育イベント」を開催予定です。普段は「ヤマシメ石蔵」にありますが、お気軽にお声がけください。今後ともよろしくお願ひします。

新型コロナニュース

コロナに
負けない!

猛威を振るうコロナ変異株 BA.5
“第7波” 新規感染者全国で急増中!

～自分の命を守る・
家族の命を守る・社会の命を守る～

道民の“3つの行動”の徹底

① 日常生活

■三密回避、人との距離確保、マスク着用、手指消毒、換気を徹底しましょう。

② 飲食

■短時間、深酒はせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用しましょう。

③ 感染に不安を感じる時は

■ワクチン接種の有無にかかわらず、検査を受けましょう。(無症状の方に限る)

※ワクチン接種をご検討ください!

- ・若年者であっても、重症化や後遺症が生じることがありますので、積極的に3回目接種をご検討ください。
- ・60歳以上の高齢者など接種の対象となる方は、重症化予防のため、積極的に4回目接種をご検討ください。

積丹町のコロナワクチン
接種状況(8月31日見込)

全町民接種対象者 1,840 人		
1 回接種済	8 人	(0.4%)
2 回接種済	168 人	(9.1%)
3 回接種済	810 人	(44.0%)
4 回接種済	621 人	(33.8%)
合 計	1,607 人	(87.3%)

北海道の状況

【累計感染者数】
619,835名
【死亡者数】
2,343名
- 8月25日現在(道公表) -

北後志感染制御センター

「余市協会病院」で PCR 検査

●検査予約

月曜日～金曜日に予約受付(当日不可)

●検査当日に持参するもの

本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

【問合わせ先】

余市協会病院 TEL 0135-23-3126

積丹町スマートフォンアプリ 「しゃこたん地域情報」のご活用を!

町では、昨年度 IP 告知端末の更新を行い、従来の電話機能の他にスマートフォンでも町からのお知らせなどが確認できる仕組みになりました。

町外にいてもすぐに町の情報を取得することができる便利な機能となっていますので、ぜひダウンロードしてご活用ください。

ダウンロードは
こちらから↓



【問合わせ先】

役場 企画課 TEL 44-2114

生活応援券(第2回)、入浴優待券、 バス乗車券の申請受付を9月1日 より開始!



各券によって、対象者や申請期間が異なりますので、詳しくは8月15日配付の回覧をご覧ください。

また、9月1日、2日に臨時窓口を開設しますので、ご確認ください。

8月15日配付の回覧に申請書が貼付してありますが、紛失された場合は、役場住民福祉課へ問合わせください。



【問合わせ先】

役場 住民福祉課 TEL 44-2113